

輝く未来へ

令和8年 10月5日 文責:大里 昌輝

認め合い

高め合い

学び合い

◆「ようこそ大先輩」「職業人に学ぶ」…キーワードは『人間性』

本校のキャリア教育の一環として、9月25日（金）に1年生を対象に「ようこそ大先輩」、9月29日（火）には2年生を対象に「職業人に学ぶ」を実施しました。「ようこそ大先輩」は、本校を数十年前に卒業され、社会の第一線で活躍されている10名の大先輩にお越しいただき、グループに分かれてインタビューをしたり、先輩の思い出や生き様を語ってもらったりする授業です。筑穂地区まちづくり協議会のご支援をいただいて開催することができました。

また、「職業人に学ぶ」は、15名の職業人（運送業経営者、カフェ経営者、呉服店経営者、新聞記者、保育士、市役所職員、JICA経験者、警察官、郵便局長、看護師、パティシエ、飲食店経営者、牧場経営者、薬剤師、自衛官）にゲストティーチャーとして来校していただき、グループごとのインタビューに答えたり、それぞれの職業について、働くということについて話をしたりしていただきました。

「ようこそ大先輩」の様子



「職業人に学ぶ」の様子



「ようこそ大先輩」閉会行事の中で、不動産業をされている鬼丸直也さんは、「どんな仕事に就くかも大切だが、『どんな人間』になるかがそれ以上に大切。」という話をされました。さらに、「職業人に学ぶ」では、筑穂郵便局長の案西一将さんから、「社会はAIの時代になってきているが、私たちは人と人をつないだり、人と接したりして仕事をしています。人と関わっていく『人間力』が大切」という言葉をいただきました。奇しくも「人間」という言葉を共通して用いられました。これには、皆さんに社会に出て自立するために、まず、豊かな人間性を高めて欲しいという願いが込められていると私は感じました。1・2年生の皆さんは、この活動を通してどのような言葉が胸に残りましたか。

◆「確かな学力」 着実に

4月に行われた全国学力・学習状況調査（3年生）の結果が返ってきました。学校としての結果は下記の表の通りで、昨年度に比べ着実に力を伸ばしています。

また、9月に行った夏の課題テストについても個票を配付しています。重要なことは点数だけを見て一喜一憂せず、他人と比べず、みなさん一人ひとりが目標をもち、過去の自分を超えていくことです。毎日の授業、学習を精一杯頑張りましょう。

<令和8年度全国学力学習状況調査結果～正答率～>

教科	本校	福岡県	福岡県との差	全国
国語	64.0%	63.0%	+1.0p	63.9%
数学	54.0%	56.0%	-2.0p	57.0%

<各教科の傾向>

・国語は思考力・判断力・表現力において、全体正答率で県平均を上回っており、特に「読解力」や長文・記述を含めた「記述表現力」で高い正答率を示しています。しかし、問題文にある指定条件の確認不足など、問題文の内容を確実に把握できずに間違ってしまったケースも多く見受けられました。

・数学は全体正答率で県平均を下回っています。計算や基礎的知識の短答形式では県平均以上ですが、思考力・判断力・表現力を問う応用・記述問題で大きく差をつけられています。基本計算や知識問題（知識・技能、短答式）では健闘しているものの、考え方の過程を記述したり、数学的根拠を活用したりする問題（思考・判断・表現、記述式、データの活用）に明確な課題が見られます。